



町内会短信 9月号

長月

2021年9月1日
川沿中央第一町内会長
柴田田鶴子

ここ1年余りコロナに明けコロナに暮れた感のある日本、北海道、札幌そしてここ川沿の地。今月の巻頭言を考える私の胸の内から湧き上がる声は「湿っぽい話題でなく、何か明るいことを書きたい」というものでした。その声に突き動かされての文章が下記の情景となりました。

〈8月6日(金) どんぐり公園での『ちょこっとだけの七夕祭り』風景 PM5:30〜〉

役員「皆さんお疲れ様、毎年お菓子を寄付頂いている方々の差し入れお菓子と行事予算でこんなに用意出来ました」（段ボール箱2つにお菓子詰め合わせ50個と願い事を書く短冊50枚）

役員「毎年お菓子寄付頂く〇〇さん、七夕が近付くと寄付用のお菓子を用意するのが楽しみと言って下さるのよ」

役員「今年は暑いからゼリーなんかいいな〜とかね」

役員「もう5時30分だけど誰も来ないね…。回覧板見てくれたかな？」

役員「子ども会通じて連絡したから大丈夫とは思うけど…」

そこへ幼児連れのヤンパパ現れ、続いて高学年のお姉ちゃんに連れられた幼児も…。役員一同ホッとするとともに準備に入る。

役員「ハ〜イ、良く来てくれましたね〜。まずここに名前書いてね。ハイお菓子と短冊。この短冊にお願いを書いて玄関に飾っておいてね」（パパが子どもに「ありがとは?」）幼児「あ・り・が・と」

役員「ハイ、いい子ですね、ちゃんとありがと言えたね」

役員「来年も来てね、バイバイ…」 こんなやりとりをしているうちに6時になりました。

役員「小学生来ないね。お菓子配るだけじゃダメか？」

役員「そんなことないと思うよ、お菓子は魅力でしょう。コロナで去年からイベントが殆どないし」

6時15分頃に、町内会の子ども会々員と、町内で開設している学童保育あすなろクラブの子ども達が、合同でガヤガヤやってくること20数人。自転車で行ってくる子供達も数人、にわかにな忙しくなる。

役員「ハイ、名前を書いたら幼児と低学年は別々に並んでお菓子と短冊を貰ってね」

付き添いの親「ありがと言おうね」 子ども「ありがとうございました」

役員「ハイ。来年も又元気で来てね、さようなら」

公園で出会ったママ友も「久しぶり」、「元気だった?」と近況報告をしています。

無事、用意したお菓子と短冊を配り終わり、ずっと手伝ってくれた役員のお子さんの中学生にもお礼としてお菓子を一袋進呈。6時50分近くまで後片付けをし、まだ遊具で遊んでいる子ども達に「親と一緒にない子は帰ってね」と声かけをする。そこに駆け足で「まだやってる?」と駆けつけた3、4人の子達に段ボールの底に未だ残っていたお菓子をあげて、無事行事終了。

役員反省から

- ◆ 感染防止の立場から取り止めの声もあったが、子ども達や親にも喜ばれ、やってよかった。
- ◆ 恐る恐るお菓子の寄付をお願いしたら、殆どの方が毎年お菓子選びが楽しいとの言葉を頂き、感謝。
- ◆ 不要不急の外出を控える中、他者と会う機会が少ないので、会って肉声を聞く事の大切さを感じた。

裏面へ →

◆ この行事で、人との触れ合い、対面で交わされる肉声の「ありがとう」「こんばんは」「元気?」「久しぶり」「またね」等の数々の言葉が新鮮だった。ここ2年間の行事禁止で人間と人間を繋ぐものが失われてしまったという実感がある。

◆ 改めて人と人の繋がりの大切さを行事を通して痛感した。

コロナ禍で家にこもる生活が続きますが、細々と続く人間関係の糸を絶やさぬ様、町内会として何が出来るのか、役員夫々が己に問いつつ、秋の役員会に繋がれたら願っています。

8月の町内会行事実施報告	
8月4日(水)	どんぐり公園清掃日 9:30~10:30 Bグループ (6,7,8,9,10班)
8月6日(金)	ちょこっとだけの七夕祭り 於 どんぐり公園 50名参加 ◆幼児 17:30~ / ◆小1~3年生 18:00~ / ◆小4~6年生 18:30~
8月11日(水)	ふれ合いガーデン整備実施日 8:30~9:30 水分補給しながら実施
8月18日(水)	どんぐり公園清掃日 9:30~10:30 Cグループ (雨の為次週に延期)
8月25日(水)	どんぐり公園清掃 再び雨で中止。午後から環境衛生部長・副部長二人で清掃
9月の町内会行事予定	
9月1日(水)	どんぐり公園清掃日 9:30~10:30 Dグループ(16~20班)
9月8日(水)	ふれ合いガーデン整備実施日 8:30~9:30 くらい
9月15日(水)	どんぐり公園清掃日 9:30~10:30 Eグループ(21~24,28~29班)
9月22日(水)	ふれ合いガーデン整備実施日 8:30~9:30 くらい
9月29日(水)	どんぐり公園清掃日 9:30~10:30 Aグループ(1~5,25~27班)
連合町内会関係	9月18日(土)連合会パークゴルフ大会 パークヒル真駒内 9:00 (雨天順延 9/25) 参加希望者は9/9(木)迄に和仁体育部長あて申し込むこと
敬神講関係	9月11日PM3:00 宵宮祭神事/9月12日AM11:00~ 於 藻岩神社神殿
※ 敬老会は9月開催は無理ですが、10月~11月にかけて開催できればとの希望を持っています。	

郷土史より (視野を広げて) —クラーク博士の志 (2)

郷土歴史家 吉田邦行



博士は旅行日数を含め 1年間の契約での来日(札幌滞在は8ヶ月)であった。クラーク博士だけが強力なスポット・ライトを浴びているが、補佐としてウィリアム・ホイラーとダビット・ペンハローを率いて来道している。ホイラーには英語、数学、土木工学を、ペンハローには英語、農学、植物、化学を担当させている。

クラーク博士は来日早々、口頭試問で酪農を学ぶ生徒を、札幌学校からの13名と、東京英語学校から11名を選出した。生徒には4年間の学業と、5年間の開拓使勤務が義務付けられている。衣・食・住付きの全寮制で官費制度が有り、農業実習には賃金も支給される恵まれた条件であった。横浜から生徒と一緒に北海道へ船で旅立った。生徒の多くは元武士の次男・三男で、戊辰戦争の幕府側に付いた出身者も多かった。国に食いぶちの無い生徒は、新たな開拓地・北海道へ渡ること、生活と将来が約束されていたからである。(次号へつづく) 紙幅の関係で今月は少ししか載せられませんでした。